

京都生協ボランティア隊と大阪いずみ市民生協ボランティア隊による合同支援作業 in 南三陸

早くおいしいカキで恩返ししたい

まず先遣隊として、京都生協の本部4人・北部2人、鳥取畜産農協2人、大阪いずみ2人の12人のメンバーが25日午後8時に登米市内の旅館に到着、翌26日午前7時から準備を始めました。

続いて“本隊”である京都生協(両丹ブロックエリア)のボランティア隊25人、大阪いずみ生協ボランティア隊29人が到着しました。京都、大阪とも25日午後7:30に現地を出発しており、12時間近い長旅だったにもかかわらず、全員揃ったところですぐに朝礼が始まりました。

今回のボランティア活動全体の責任者である京都生協・地産地消チーフの福永晋介さんからあいさつと作業スケジュール、留意点などの説明に続いて、登米市の仮設住宅の自治会長でいらっしゃる宮川安正さんからもごあいさつをいただきました。

宮川会長は、「京都生協さんは、去年の暮れに餅つきとバーベキューをしていただき、涙が出るほどうれしかったです。仮設住宅内では煙を出すと火災報知機が鳴ってしまうため、なかなかできないのです。今日の炊き出しも、みんな楽しみにしていました。私たちも自立して頑張らなくてはなりません、そのために皆さんの支援は本当にありがたいです。感謝の気持ちでいっぱいですが、『ありがとう』の言葉しか出てきません。仮設住宅では、350戸の皆が全員、一つ屋根の下で暮らす家族だと思っています。いろいろ問題もありますが、南三陸町に帰れるまで皆で励まし合って頑張って生きていきたいです。子どもたち、孫たちにも未来の展望が見えるようにしたいと思っていますし、何より応援してくださった皆さんに恩返ししたい。最初はすべてを失ってあせんとしましたが、またおいしい南三陸のカキを皆さんに食べていただきたいと思います」と話しました。

全体ミーティングの後は、土のう作り・70人分の炊き出しグループは志津川に向かい、登米の仮設住宅では430人分の炊き出しの準備をスタートしました。500人分のホルモン焼きそばとバーベキューの材料はホルモン20kg、そば玉400玉、焼き肉用の牛肉120kgなどで、京都生協の過不足ない食材・用品の準備は、仮設住宅の皆さんからも評価されています。



牛肉やホルモンなど、430人分の炊き出しを実施した。

「京都生協さんたちが来てくれるからカラオケもやろうと思って、お願いしておいたんです」と松岡昭広(まつおか・てるひろ)さん。松岡さんは南三陸でカキの養殖などをされていた漁師さんで、福永チーフとも常に連絡を取り合っています。仮設住宅に庇をつけてメディアで紹介されたこともあります。仮設は玄関扉を開けたらすぐに居室になっているため、外で靴を脱がなくてはならず、雨の日などは不便なのです。そこで玄関に庇をつけて、洗濯物も干せるようにしたそうです。

広場にはボランティアによる選挙カーを改造した「カラオケ機械登載車」が登場、青空の下に歌声が響きました。「まだ90歳」とおっしゃる男性は、「歌手になりたかったけど、戦争で断念しました。歌は好きなので、今日は楽しいです」と笑顔を見せていました。

これからも継続した活動を

南三陸町志津川袖浜では約60kgの土のう作りが行なわれ、みやぎ生協職員も参加しました。

作業の開始にあたり、みやぎ生協と産直を通じた取り組みを続けてきた宮城県漁協志津川支所運営委員長の佐々木憲雄さんが、

「震災直後から漁協の組合員が一体となって協同の力で復興を果たして行くしか道はないと思っていた時に京都生協さんと鳥取県畜産農協さんが支援に来てくださり、改めて『協同の力』による復興を確信しました。遠くから支援に来てくださることに感謝の念でいっぱいです。カキをはじめ質のいい水産物を生産して、組合員さんたちに喜んでいただくことが恩返しだと思いますので頑張ります」とあいさつされました。

皆さんのあいさつのあと、25℃の気温、強い日差しの下で500個の土のうが手際よく作られていきました。

炊き出しと土のう作り作業の終了後、全隊で袖浜に集合し、復興商店街「南三陸さんさん商店街」で買い物を楽しんだ後に解散となりました。

京都生協は、「志津川防災センター」(津波で亡くなった南三陸町職員・遠藤未希さんが最後まで住民への避難呼び掛けの有線放送を続けた庁舎)の跡地を訪問して祈りをささげた後、津波被害後も営業を続ける「ホテル観洋」で入浴後に帰路につき、大阪いずみ市民生協は岩手・大船渡に移動し、「ホテル丸森」に宿泊、27日はコープあいちボランティア隊と共に仮設住宅の利用支援に取り組みました。

解散にあたり、福永チーフは、「大変でしたが、結果は上々です。一人では何もできません。生協があるから続けられるんです。これからもみんなボランティアを続



土のうをつくった作業班の皆さん。

けていきます」とコメントしました。南三陸町・志津川でのボランティア活動は京都生協は今回で6回目、大阪いずみは4回目だそうです。今後の活動も期待できます。